

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

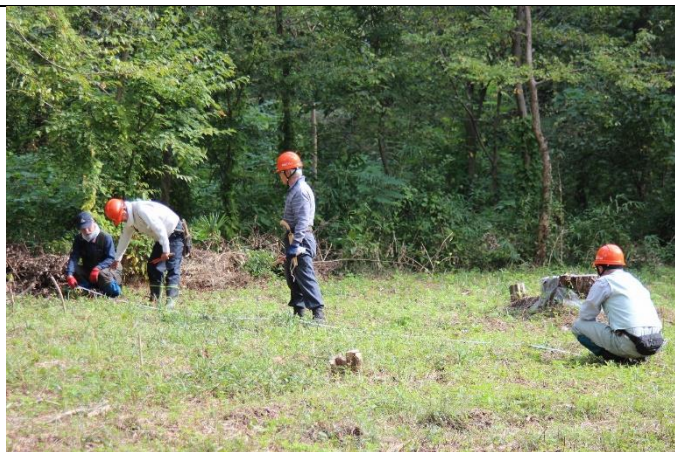
活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地	記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和5年10月25日(水) 9時00分～12時00分	天気	晴れ 19.0℃, 65%
参加者	浅川、安達、伊藤、江成、開沼、川口、白川、田中、田村、平野、本田、松浦		計12名
活動内容	森づくりと保全活動		
使用道具	手鎌、メジャー		
機器操作者	刈払い機		チェーンソー
	浅川、安達、開沼、白川、田村、平野		—
区域	A地区「植生調査地」、B地区「植樹予定地」、倉庫前広場		
作業内容	①下草刈り、②測量、③クラフト材料の棚卸、④機器の整備		



イヌシデ広場に機材を並べ、作業前点検をした



植生調査地の下草刈りを行った



苗木の植樹予定地を測量する様子



苗木を植える場所に、目印となる串を刺していった

次回の予定：定例活動9:00～

11月4日(土) イヌシデ広場集合

11月11日(土) イヌシデ広場集合

イベント：

11月5日(日) 市民活動フェスタ2023

11月18日(土) ボランティア講座

☆ボランティア募集・経験不問☆

第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

●「植生調査地」の定期保全活動として、下草刈りを行った。葛やアズマネザサなどを一旦刈り取り、今後も植生を観察し続けていく計画である。

●来月に小学生と共にドングリの苗木を植樹する場所へ、目印として1本ずつ串を刺していった。薪炭林として利用されなくなって久しいが、炭の原材料としての活用が減り大径木化したナラ類やシイ・カシ類などの広葉樹に体長4.5～5mmほどのカシノナガキクイムシがナラ枯れを引き起こす事態に陥ったので、将来を担う子どもたちや先生らと協働で森林の再生に挑戦したい。

●今後も市民活動フェスタや企業CSR活動支援などのイベントが続くので、倉庫前広場でクラフト材料の棚卸や機器の整備などを実施した。以上